

住民こそ主人公つらぬき、安心して住み続けられる広陵町に

3月議会で
日本共産党が提案

ゴミ袋代は半額に

45 L 1枚 45 円の
原価は 11 円

3月議会で日本共産党は、ゴミ袋代を半額にする条例改定案を提案しました。しかし、反対多数で否決されました。

くらしが厳しいなか、「少しでも助かる」とゴミ袋代の減額には期待の声が寄せられています。ゴミ処理は本来、住民が納めた税金で行う町の基本的な仕事です。しかも、3年間で8900万円も貯めこんでいます。今後も実現めざして取り組んでいきます。

奈良市や香芝市、
王寺町など 10 市町村
は無料

住民参加の分別
リサイクルで
ゴミ減らそう



日本共産党

町会議員

山田みつよ



国保税、値上げ許さず引き下げを

18歳以下の子どもを持つ家庭の国保税の引き下げを提案

子どもが
生まれたら
増税？



国保税は18歳以下の子どもにも均等割として1人26100円がかかります。

日本共産党は、せめて18歳までの子どもの均等割を廃止して子育て支援の町に、と条例改定案を提案しましたが、否決されました。

全国知事会も見直しを国に要望しており、実現へ引き続きがんばります。

お買い物、通院、
お出かけを応援

元気号を使いやすく 予約制乗り合いタクシーの導入を



「元気号」の便数やルートを増やすことや、バス停までの歩行が困難な人には、予約制乗り合いタクシー（デマンドタクシー）の導入が必要です。

町は予算も増やして、住民の願いに応えるべきです。

国会議員団と連携し、国に要望

日本共産党町議団は、2月27日上京し、党国会議員とともに国土交通省に公共交通の充実を求める要望をしました。国の担当者は「予算が少ない事は承知している。予算確保にがんばりたい」とのべました。



議案提案権をもつ 日本共産党の 2議席で

毎議会で意見書提案

日本共産党町議団は、2議席で提案することが出来る提案権を使い、毎議会ごとに意見書や議案を提案し、町政を前に進めてきました。

- 給付型奨学金の拡大（可決）
- 核兵器禁止条約に参加することを求める意見書（可決）
- 国保税の一世帯1万円引き下げを求める意見書（否決）
- 公務公共サービスの拡充・向上と非常勤職員の地位・待遇改善（可決）
- 学校給食費への財政支援を求める（可決） など。

箸尾準工業地区の開発は見直しを

総額 43 億円
の大型開発

町が債務保証する土地開発公社が、坪5万円前後と言われている23000坪もの土地を坪8万円で買い取り、32億円をかけて造成する計画です。

幹線道路や上下水道など別途11億円は町の公共事業となり、計43億円の大型開発です。

町財政からの
融資はやめよ

町は、開発公社に12億円を町財政から融資する考えを示しました。無謀な大型開発であり、日本共産党は、行方不明な区画整理方式で町に負担のかからない方式にするよう見直しを求めています。

予定地区画割（広陵町事業計画書より）→



3月議会の論戦

3月議会で提案された26議案のうち、町政をすすめるために必要な23議案に賛成。3議案に反対しました。

予算8議案では、2議案（墓地、下水道）に賛成。住民負担を強化したり、制度の改悪のある6議案（一般会計、国保、介護保険、後期高齢者医療、給食、水道）に反対しました。

一般質問の内容

やつお春雄町議

- ① 会計年度任用職員の労働条件の改善
- ② 保育園の待機児童解消
- ③ 公共交通の国からの特別交付金について
- ④ ゴミ袋代を半額に
- ⑤ 歩車分離交差点での自転車の走行

山田みつよ町議

- ① 町道3号線（百済・松塚線）の改善
- ② 予約制乗合タクシーの導入
- ③ 学校給食の改善と無償化
- ④ 町独自の給付制奨学金の創設

議案の賛否（敬称略）〈賛成○・反対×〉

2020年/3月議会	日本共産党		公明党		無所属								結果		
〈議案・意見書等〉	春やつお	山田みつよ	吉村眞	山村	濱野	吉田	坂野	吉村裕	坂口	奥本	堀川	谷		笹井	青木
ゴミ袋半額を求める条例改定案	○	○	×	×	×	×	×	×	○	加藤のりため、採決に まかせん	×	○	×	×	賛成4・反対9で否決
国保18歳までの均等割廃止する条例改定案	○	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	賛成2・反対11で否決
一般会計から7億円、水道会計から5億円を土地開発公社に貸し付ける予算案	×	×	○	○	○	×	○	○	×		○	×	○	○	賛成8・反対5で可決